

資料-1 学校法人須賀学園の沿革

1900年	(明治33年) 11月	須賀栄子により須賀学園創立(宇都宮市西塙田町)
10年	(43年) 10月	宇都宮市河原町(現在の松が峰2丁目)に移転
34年	(昭和 9年) 10月	創立者須賀栄子校長逝去, 須賀友正校長に就任
45年	(20年) 7月	宇都宮大空襲により全校舎焼失
46年	(21年) 4月	宇都宮市睦町(現校地, 元陸軍野砲兵連隊跡)に移転
48年	(23年) 4月	学制改革により宇都宮須賀高等学校(普通科・家政科・商業科)となる
64年	(39年) 4月	宇都宮須賀高等学校に音楽科を設置
67年	(42年) 4月	宇都宮短期大学(音楽科、長坂キャンパス)を創設, 須賀友正学長に就任
68年	(43年) 9月	宇都宮須賀高等学校は宇都宮短期大学附属高等学校と校名変更
70年	(45年) 4月	宇都宮短期大学附属高等学校に調理科を設置
82年	(57年) 9月	須賀友正理事長・学長逝去, 須賀 淳理事長・学長に就任
83年	(58年) 4月	宇都宮短期大学附属中学校を創設(中高一貫教育)
86年	(61年) 4月	宇都宮短期大学附属高等学校の普通科は特進コース・進学コース・英進コースの3コース制となる
88年	(63年) 4月	宇都宮短期大学附属高等学校の家政科は生活教養科, 商業科は情報商業科となる
99年	(平成11年) 4月	那須大学都市経済学部(那須塩原市)を創設
2000年	(12年) 11月	須賀学園創立100周年
01年	(13年) 4月	宇都宮短期大学に人間福祉学科(社会福祉専攻・介護福祉専攻)を設置 宇都宮短期大学附属高等学校普通科に, 医歯薬特進コースを設置
02年	(14年) 4月	宇都宮短期大学附属高等学校普通科英進コースは応用文理コースとなる
03年	(15年) 4月	宇都宮短期大学人間福祉学科に幼児福祉専攻を設置 宇都宮短期大学附属高等学校普通科に, 国公立特進コースを設置
04年	(16年) 4月	須賀英之学長に就任
06年	(18年) 4月	那須大学都市経済学部を宇都宮共和大学シティライフ学部に変更 宇都宮シティキャンパスを開設(大通り1丁目)
09年	(21年) 4月	宇都宮共和大学の本部位置を那須塩原市より宇都宮市(大通り1丁目)に変更

- 11年 (23年) 4月 宇都宮短期大学人間福祉学科幼児福祉専攻を宇都宮共和大学子ども生活
学部子ども生活学科(長坂キャンパス)に改組
- 17年 (29年) 4月 宇都宮短期大学創立50周年

資料-2 栃木県の健康・栄養調査結果

県民健康・栄養調査

第1回目 平成15年実施

第2回目 平成21年実施(23年結果公表)

第3回目 平成28年次実施(30年結果公表予定)

平成21年度県民健康・栄養調査

- 1) 調査期間:平成21年11月～平成22年2月
- 2) 調査対象:満1歳以上、県内60地区より無作為抽出、1,107世帯2,741人
回収率:89.8%(2,741/3,054人)
- 2) 郵送による生活習慣アンケート調査
 - ・健康に対する意識/健康診断の受診/食生活/運動/休養/喫煙/歯と口腔等
- 3) 調査員の訪問等に地区調査
 - ・身体状況調査(身長・体重/腹囲/血圧/服薬の状況/血液検査/問診等)
 - ・栄養摂取状況調査(食事状況/歩数)
 - ・健康に対する意識/健康診断の受診/食生活/運動/休養/喫煙/歯と口腔等

結果(→は、前回の15年度調査結果に対する増減)

- ①肥満者の割合:成人男性が28.6→37.8%、成人女性28.4→23.8%
- ②食塩摂取量:男性→13.9g→12.4g、女性12.0g→10.2g
- ③運動習慣者の割合:男性20.4→31.3%、女性21.5→24.7%
- ④平均歩数:男性7,651→6,881歩、女性6,593→5,821歩
- ⑤ストレスが大いにあった者の割合:男性15.7→17.4%、女性17.8→19.3%
- ⑥喫煙習慣の割合:男性47.7→43.2%、女性11.7→10.2%
- ⑦8020達成者の割合:男性22.2→28.1%、女性15.5→20.9%
- ⑧医師から高血圧といわれたことがある者の割合:男性25.5→27.9%、女性23.6→25.8%

※平成21年度県民健康栄養調査結果概要版(平成23年1月)より引用

資料-3 栃木県の健康・栄養調査結果(高校生対象)

県民健康・栄養調査

平成 21 年度県民健康・栄養調査

- 1) 調査期間:平成 21 年 10 月～平成 21 年 11 月
- 2) 調査対象:県立及び私立の全日制及び定時制高等学校(全 83 校)2 年生
回収率:81.6%(2,749 名/3,370 名)
- 3) 栃木県保健福祉部健康増進課から、各学校へ調査票送付
・こころとからだ/日常生活のようす/食べ方、「食」に対する考え方/たばこを吸うこと/
お酒を飲むこと/健康情報の利用希望 等に関する質問

結果

図 1 現在(調査時)の健康状態(性別)
あなたの現在の健康状態はいかがですか。

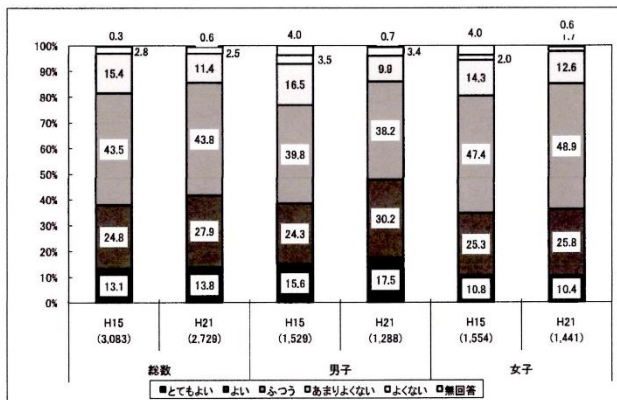


図 2 朝食の欠食状況(性別)
あなたはふだん、朝食をたべますか。

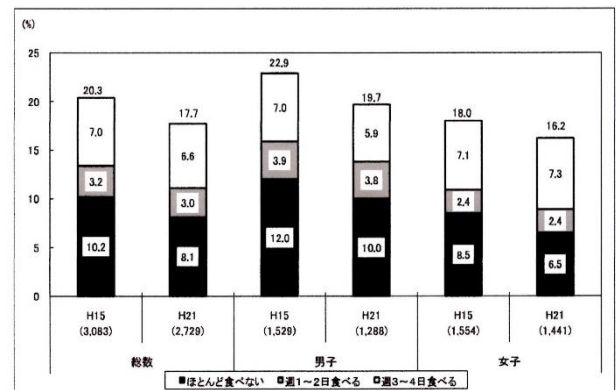


図 3 朝食を食べなくなった時期(性別)
いつ頃から朝食を食べないことがあるようになりましたか。

※問7で毎日朝食を食べない(週3～4回食べる、週1～2回食べる、ほとんど食べない)を対象にした。

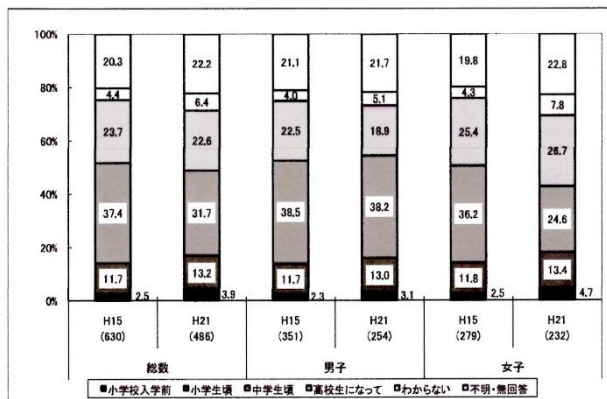


図 4 現実の体型が「低体重(やせ)」の者の、体型に関する願望(女子)
あなたはやせたい(太りたい)と思っていますか。

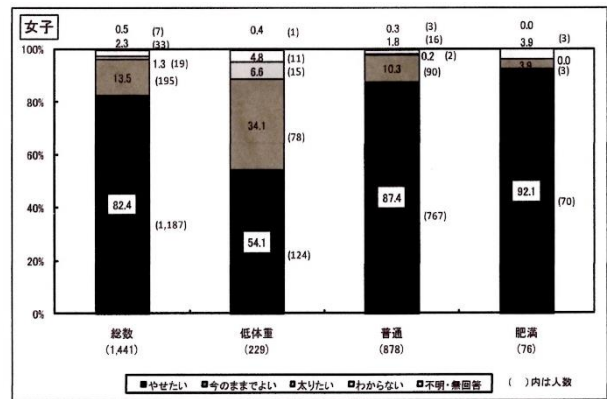


図 1～図 4 の出典：平成 21 年度県民健康栄養調査(高校生の食生活実態調査)結果(平成 23 年 1 月)より引用

資料-4 大学生等の食環境と食行動、食への関心に関する調査結果

調査の概要

- 1) 目的:若い世代、特に大学生は、生活環境等の変化等により、朝食の欠食など食生活が乱れる傾向が多くみられることから、大学生への食育の普及・啓発が必要になっている。若い世代を対象とした今後の施策推進の基礎資料とすることを目的とする。
- 2) 調査対象:関東農政局管内 10 都県の大学・短期大学・専門学校 32 校の学生 3,253 名
- 3) 調査期間:平成 26 年 1 月～5 月
- 4) 調査方法:協力校に直接配布及び回収
- 5) 調査項目:食生活の実態/食生活上の気になること/食生活上の考え方/食生活上の行動/「食育」の認知度/食文化の経験度/食の知識

結果

※食育に関する科目を履修する栄養・保育・農業等の学部の学生が回答者の 73%を占めた。

図 1 朝食に何を食べていますか。

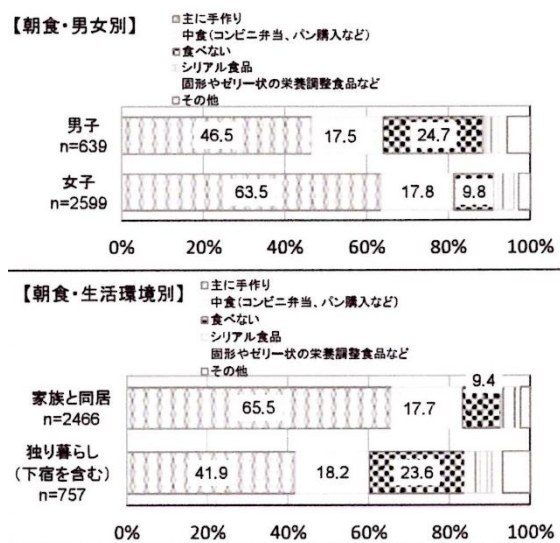


図 2 野菜を食べていますか。

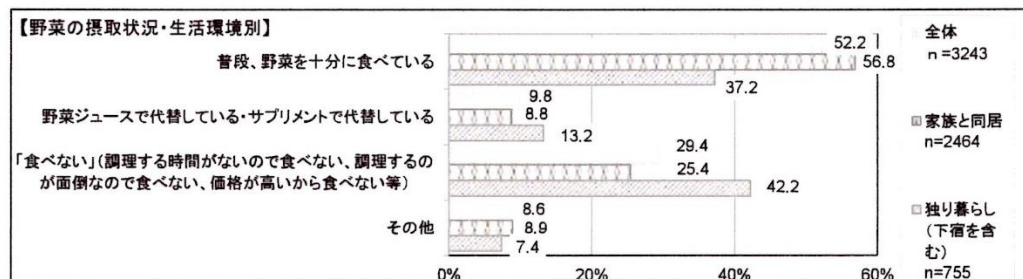


図3 1日1食でも平気ですか。

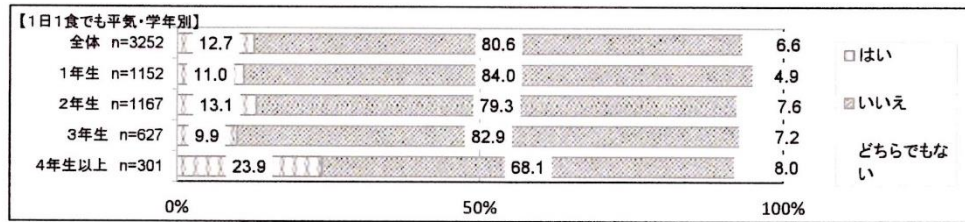


図4 1日1食でも平気の者について、今の生活に満足していますか。

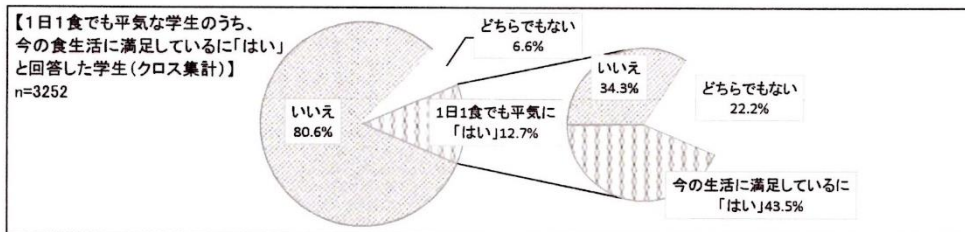


図1～図4の出典:関東農政局による大学生等の食環境と食行動、食への関心に関する調査結果(2014)より引用

資料-5 栃木県の平成 27 年度子どもと家族の食生活等実態調査結果

子どもと家族の食生活等実態調査

1) 調査の目的

保育所及び幼稚園に通う子どもと家族の食生活を中心とした生活習慣の実態を明らかにし、同様の調査を実施した平成17年度からの状況の把握と今後の地域で推進する食育活動の基礎資料とする。

2) 調査の実施主体 栃木県保健福祉部健康増進課

3) 調査の対象及び解析対象客体の概要

栃木県内の全市町において、平成17年度に「子どもと家族の食生活等実態調査」を行った保育所と幼稚園と、新たな認定子ども園を対象。そこに在籍する子どもとその家族を対象。

4) 調査対象者数

保育所3,200人 幼稚園2,735人 認定子ども園1,259人 合計7,194人

5) 主な調査項目と結果

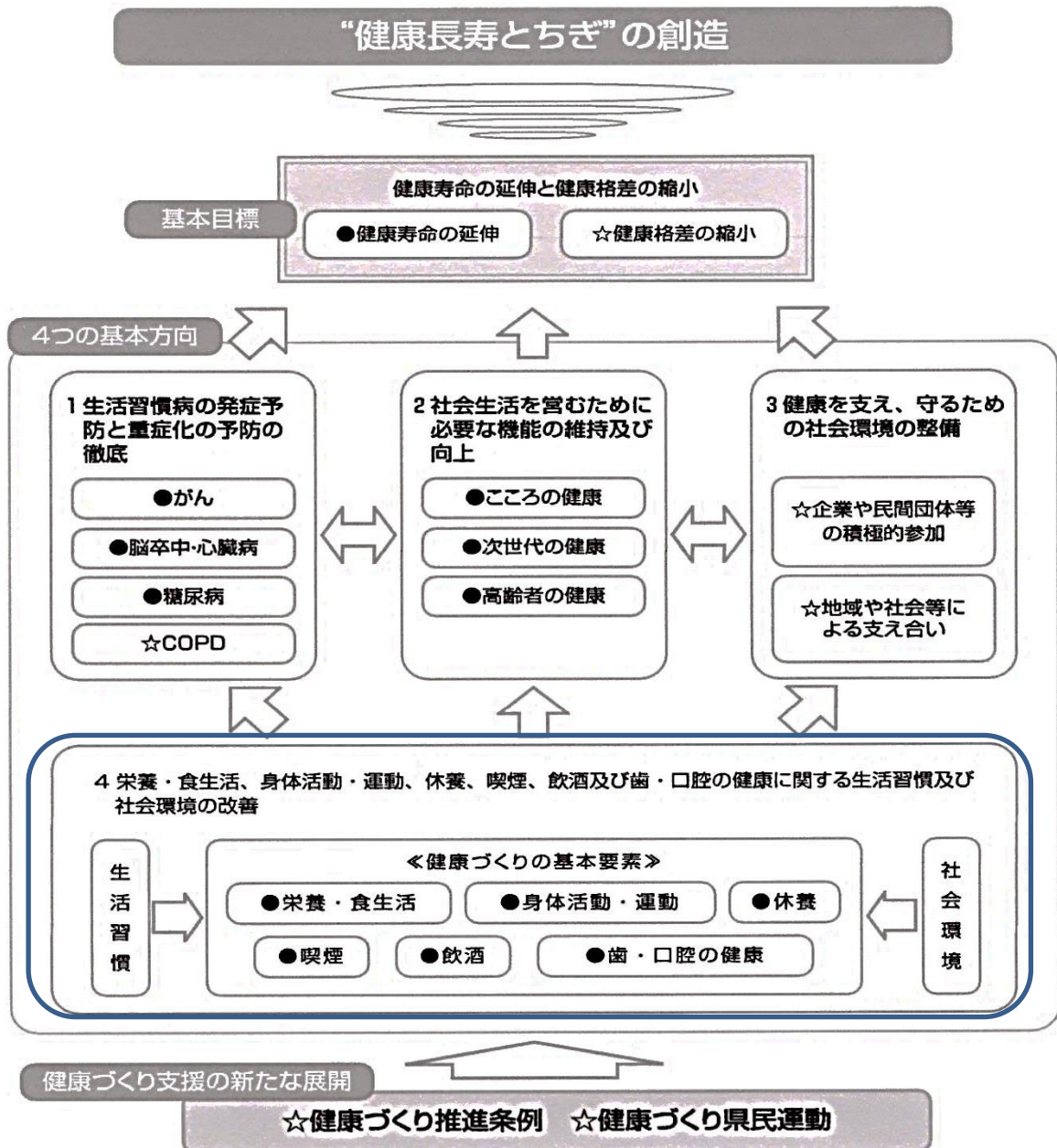
- ①子どもの肥満度：年齢が上がるとともに肥満傾向や、やせ傾向の子どもが増加
- ②子どもの運動状況：1週間に3日以上運動する子どもは約9割
- ③子どもの起床・就寝時間：およそ5割が午前7時前、9割以上が8時前に起床
3割弱が9時前に就寝し、2割弱が10時以降に就寝
- ④子どもの排便：毎日排便があるのは66.4%
- ⑤子どもの朝食について：子どもが朝食を食べない理由は「食欲がない」61.2%、「食べる時間がない」30.6%。母親、父親が朝食を食べないと子どもも朝食を食べない傾向。
- ⑥子どもの食事状況：朝食を家族そろって食べる子どもは24.1%、子どもだけで食べるは21.4%
- ⑦主食・主菜・副菜をそろえて食べる頻度：ほとんど毎日食べる人は「朝食」21.2%、昼食67.1%、夕食65.9%
- ⑧子どもがよく食べているおやつと食べる時間：よく食べているおやつは「スナック菓子」44.9%、「甘いお菓子」38.4%、「果物」24.1%、「牛乳・乳製品」21.9%、「甘い飲み物」15.7%
- ⑨改善したい子どもの食生活等：好き嫌いなくたんでも食べる、菓子や甘い飲み物をほどほどにする、主食・主菜・副菜を組み合わせる
- ⑩外食や市販のお惣菜、お弁当の利用状況：外食を週2回以上利用する家庭は約7%、市販のお惣菜やお弁当を週2回以上利用する家庭は約2割

※平成 27 年度子どもと家族の食生活等実態調査結果(平成 28 年)より引用

資料-6 年齢別人口及び構成比・平均年齢・性比の推移（栃木県）

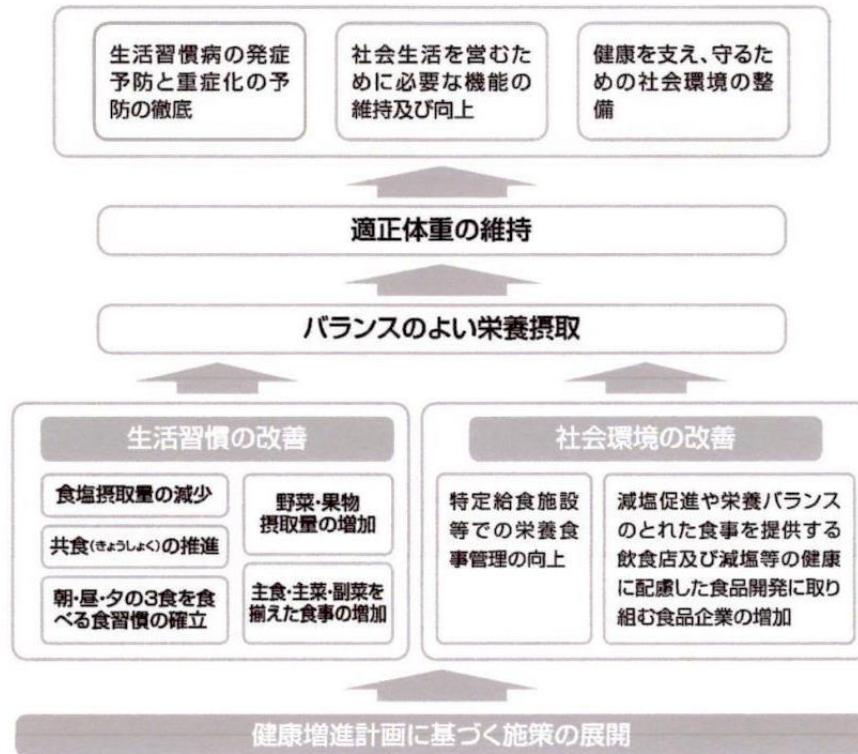
(各年10月1日現在)					
男女・年齢区分	平成25年	平成26年	*平成27年	平成28年	平成29年
総数（人）	1,987,119	1,980,960	1,974,255	1,968,425	1,961,963
15歳未満	260,002	256,647	252,836	248,819	244,779
15～64歳	1,233,173	1,212,864	1,203,616	1,187,983	1,174,504
65歳以上	475,554	493,059	508,392	522,212	533,269
75歳以上	230,276	233,093	238,962	245,956	252,760
100歳以上	669	751	846	899	900
不詳	18,390	18,390	9,411	9,411	9,411
構成比（％）					
15歳未満	13.2	13.1	12.9	12.7	12.5
15～64歳	62.6	61.8	61.3	60.6	60.2
65歳以上	24.2	25.1	25.9	26.7	27.3
75歳以上	11.7	11.9	12.2	12.6	12.9
男（人）	987,065	984,611	981,626	979,445	977,103
15歳未満	133,494	131,787	129,488	127,620	125,646
15～64歳	635,585	625,942	621,806	614,590	608,452
65歳以上	208,027	216,923	224,907	231,810	237,580
75歳以上	87,779	89,342	92,412	96,130	99,744
100歳以上	125	127	120	134	126
不詳	9,959	9,959	5,425	5,425	5,425
構成比（％）					
15歳未満	13.7	13.5	13.3	13.1	12.9
15～64歳	65.0	64.2	63.7	63.1	62.6
65歳以上	21.3	22.3	23.0	23.8	24.5
75歳以上	9.0	9.2	9.5	9.9	10.3
女（人）	1,000,054	996,349	992,629	988,980	984,860
15歳未満	126,508	124,860	123,348	121,199	119,133
15～64歳	597,588	586,922	581,810	573,393	566,052
65歳以上	267,527	276,136	283,485	290,402	295,689
75歳以上	142,497	143,751	146,550	149,826	153,016
100歳以上	544	624	726	765	774
不詳	8,431	8,431	3,986	3,986	3,986
構成比（％）					
15歳未満	12.8	12.6	12.5	12.3	12.1
15～64歳	60.3	59.4	58.8	58.2	57.7
65歳以上	27.0	28.0	28.7	29.5	30.1
75歳以上	14.4	14.6	14.8	15.2	15.6
平均年齢（歳）総数	45.6	45.9	46.2	46.5	46.7
〃 男	44.2	44.5	44.8	45.1	45.3
〃 女	47.0	47.3	47.6	47.9	48.1
性比（女＝100）	98.7	98.8	98.9	99.0	99.2

資料-7 とちぎ健康プラン 21 (2 期計画) による栄養・食生活の改善の対策



● 1 期計画において対応した分野・領域等
 ☆ 2 期計画において新たに設定する分野・領域等

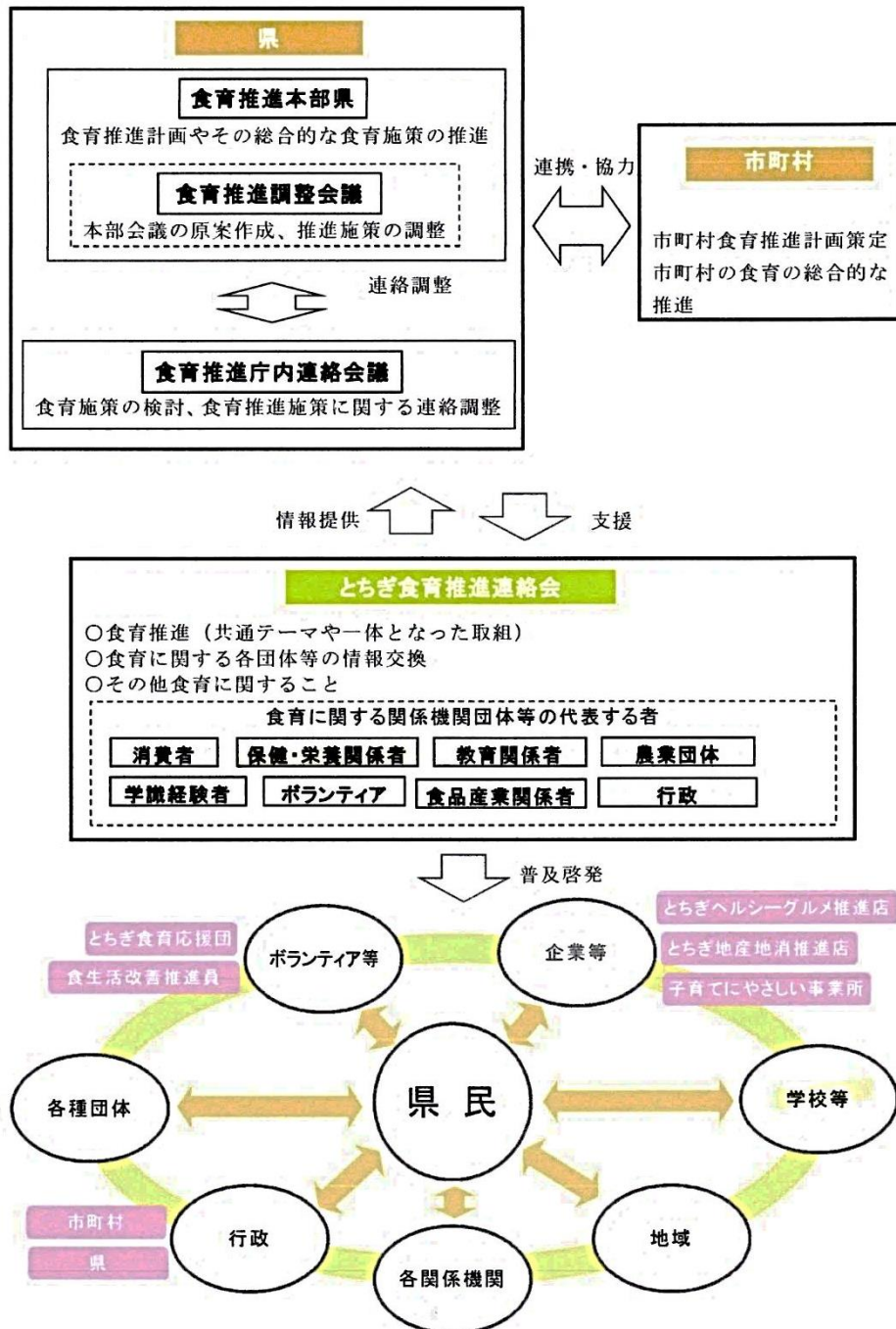
【取組スキームのイメージ】



※とちぎ健康プラン 21(2期計画)P. 33, 66 より引用

資料-8 とちぎ食育元気プラン 2020(平成 29 年度～平成 32 年度)における
食育推進体制・施策の展開と指標

食育推進体制



施策の展開と指標

1 豊かな食に感謝し親しむ機会を増やします

- (1) 食育推進運動の展開
- (2) 学校における家庭・地域と連携した食育の充実
- (3) 農業体験等食に関する体験活動の促進
- (4) 多様な暮らしに対応した共食を楽しむ機会の拡大
- (5) 優れた食文化の継承・発展
- (6) 地産地消の促進

指 標	基準値 (H27)	目標値 (H32)
食への感謝の気持ちを持つ県民の割合	75.4%	90.0%
学校給食における地場産物活用割合	36.8%	50.0%
農業体験を複数回したことがある県民の割合	58.3%	75.0%

2 健全な食生活による心身の健康を培う環境づくりを進めます

- (1) 食環境の整備
- (2) 規則正しい食事の推進
- (3) 栄養バランスのとれた食生活の推進

指 標	基準値 (H25)	目標値 (H34)※
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	56.9%	80%以上

※とちぎ健康 21 プラン(2期計画)に合わせ平成 34 年度

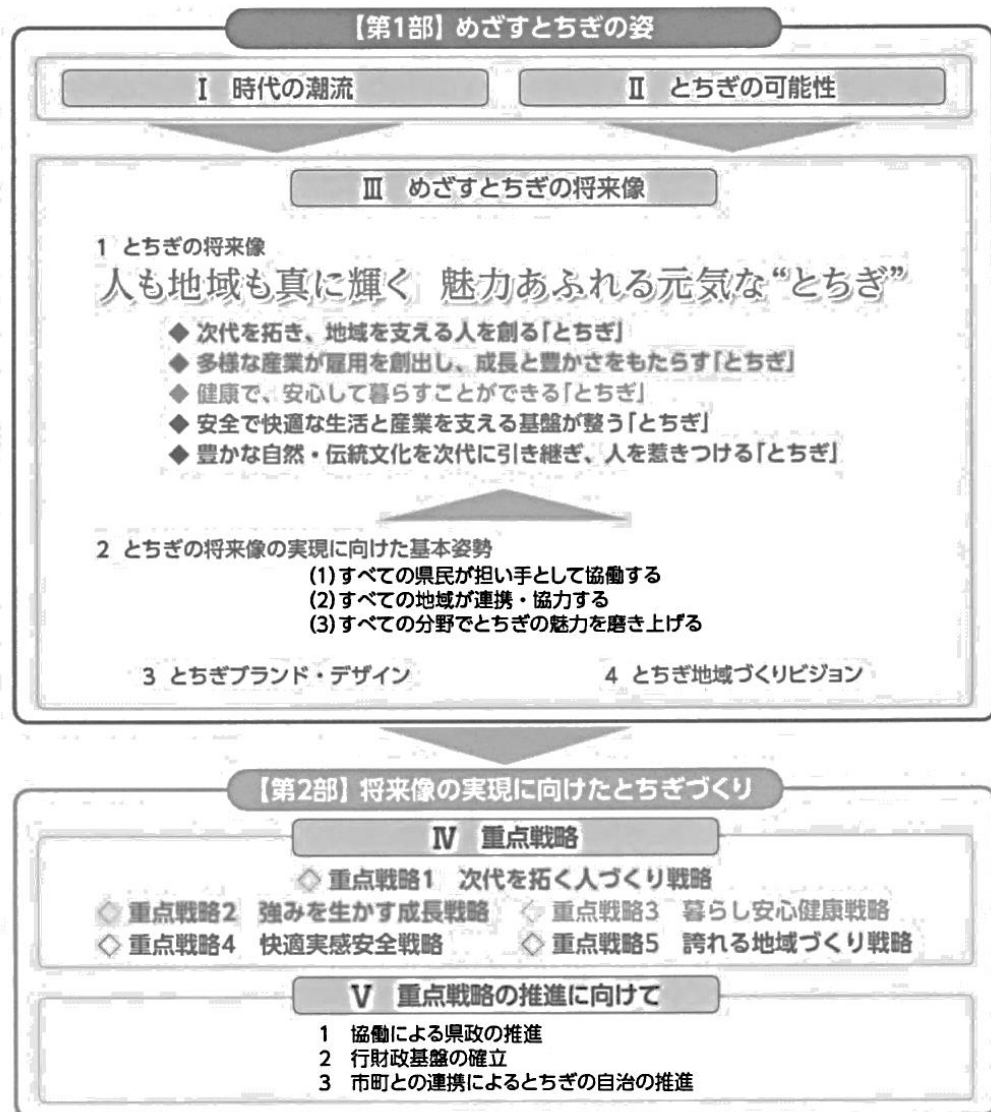
3 食の安全・安心等について関係者相互の信頼を築く取組を進めます

- (1) 食に関わる事業者による取組の情報の提供促進
- (2) 消費段階の取組の促進
- (3) 事業者と消費者の相互理解の推進

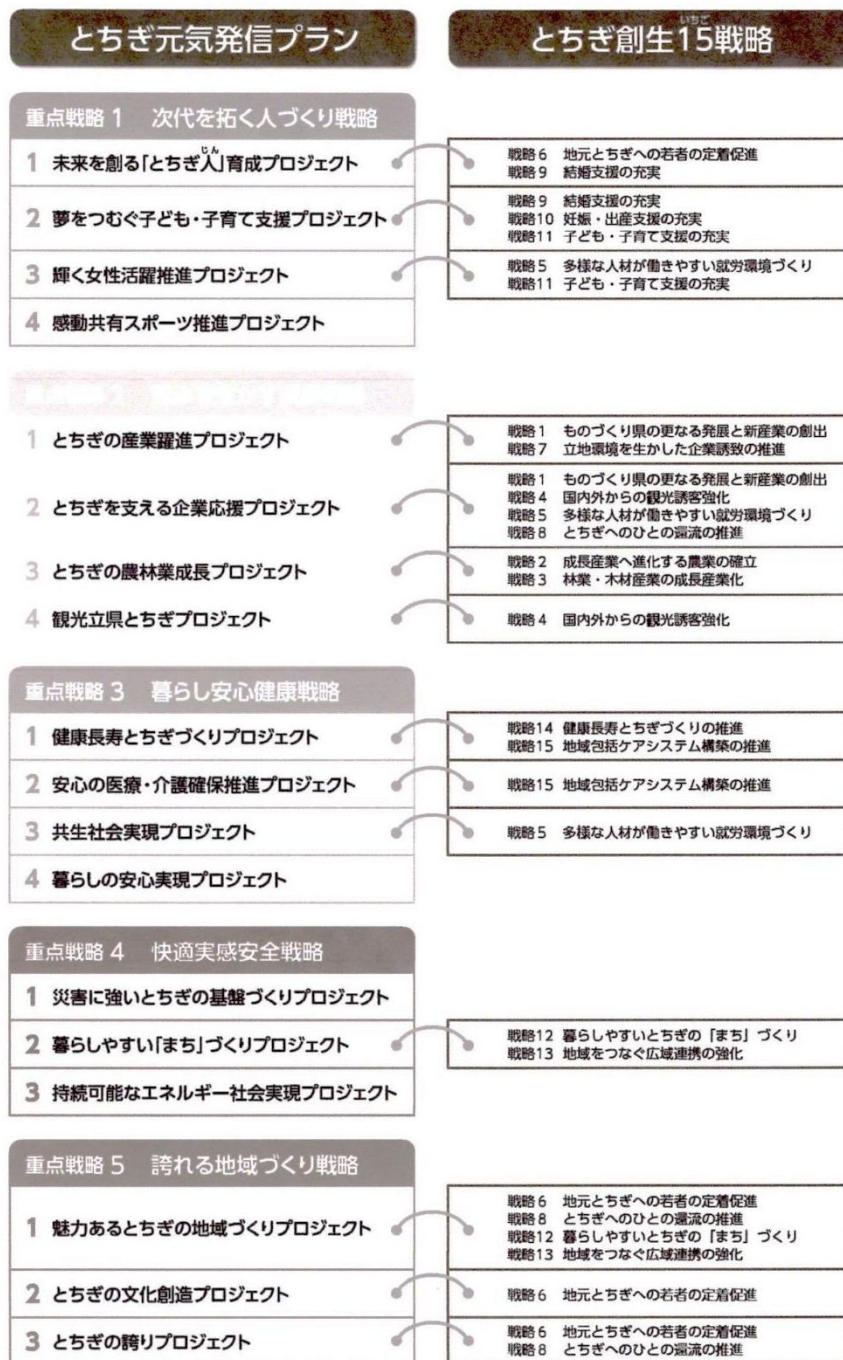
指 標	基準値 (H26)	目標値 (H32)
食の安全・安心に関する意見交換会の参加者数	13,595 人	14,900 人

※とちぎ食育元気プラン 2020(平成 29 年度～平成 32 年度) P. 3, 20 より引用

とちぎ元気発信プランの基本構成



「とちぎ元気発信プラン」と「とちぎ創生^{いちご}15戦略」との関係



※とちぎ元気発信プラン(平成28年度～平成32年度)Ⅲ,43より引用